

パネル式吊り棚足場工法

スパイダーパネル

SPパネル

一般社団法人仮設工業会承認品

NETIS 登録
番号 HK-160001-A



仮設パネル上で全ての作業が行える、
安全性と作業性を向上させた「進化形システム吊り棚足場」です。

危
険
度
の
高
い
作
業
を
安
全
に
!

開閉床採用により
隙間、段差のないフラットな作業床を実現。

危険度の高い作業を安全に!

パネル式吊り棚足場工法

スパイダー

SPIDER パネル

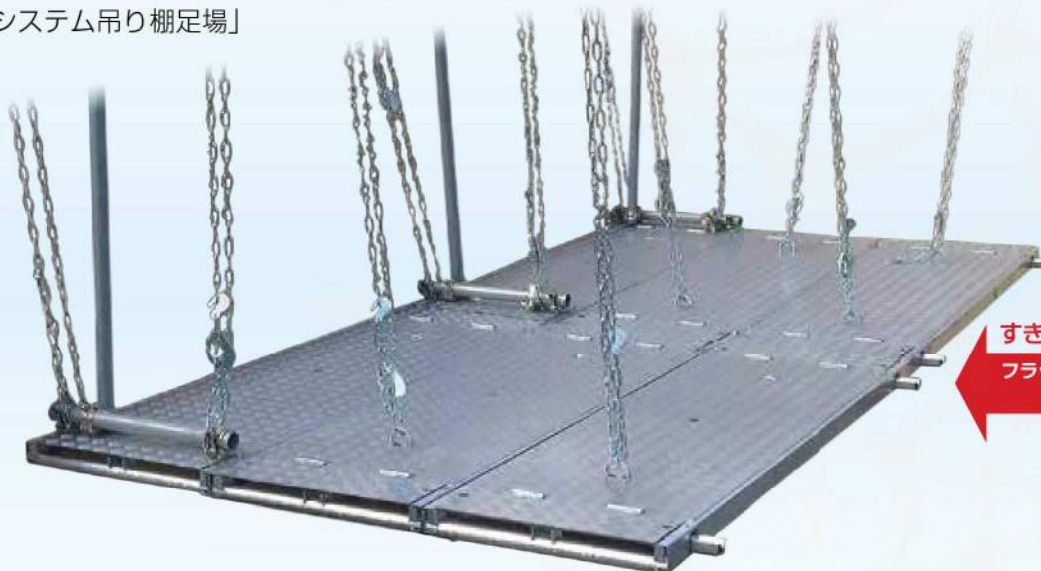
SPパネル

仮設パネル上で全ての作業が行える
隙間と段差を極限まで少なくし安全性と作業性を向上させた
「進化系システム吊り棚足場」

進化。



承認証



すき間塞ぎがいら
ない
フラットで、すき間が少
なく
段差のない足場

守る。

優れた組立性

①妻面方向の連結

受け金具がパネル設置のガイド材となっているため、位置決め及び差し込みが容易です。また、連結したパネルは連結ボルトBによりパネルどうしを確実に固定できます。

②桁行き方向の連結

パネル端部に開閉床材があらかじめ内蔵されているため、隙間の少ない作業床上での作業が可能です。また、開閉床材は、開閉床材固定金具により開き止めが可能です。

預け金具
(アップアーム)

受け金具
(ロアアーム)

連結ボルトB

連結後

開閉床材

開き止め状態

隙間が出来ない!

安全な作業床

段差のない、隙間の少ない安全な作業床を実現できます。



「進化系システム吊り棚足場」 SPパネル

作業者の安全。

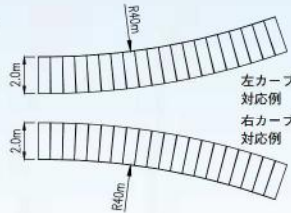
■ 優れた汎用性

道路の幅員の変化やカーブにも対応可能です。(対応最少半径)
拡幅・狭幅に対応。

(対応最少半径)

3.85m/パネル	3.0m/パネル	2.0m/パネル
R=75m	R=60m	R=40m

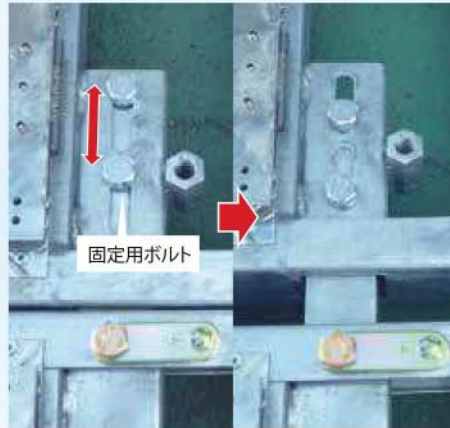
2.0mパネル
設置例



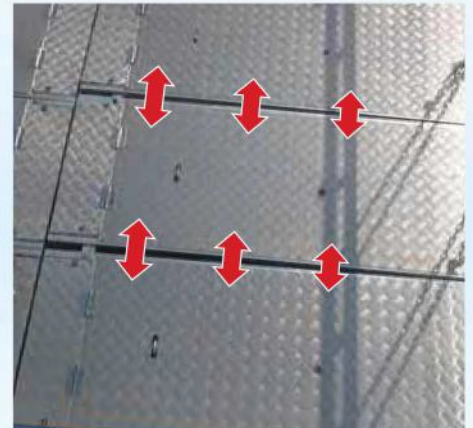
出代調整方法

預け金具固定用ボルトを緩め、
出代調整後ボルトを締め込みます。

カーブの対応



調整前
(パネル間の隙間なし)



調整後
(最大 32.5mmの隙間)

■ アサガオの設置

製品本体をアサガオとして設置できます。

安全性と施工性の向上。



アサガオの設置例



SPパネル用
単クランプボルト付

アサガオの取付詳細

■ 優れた梱包性

独自のズレ止め機能を付加しているため、
保管および輸送時の荷崩れを防止します。



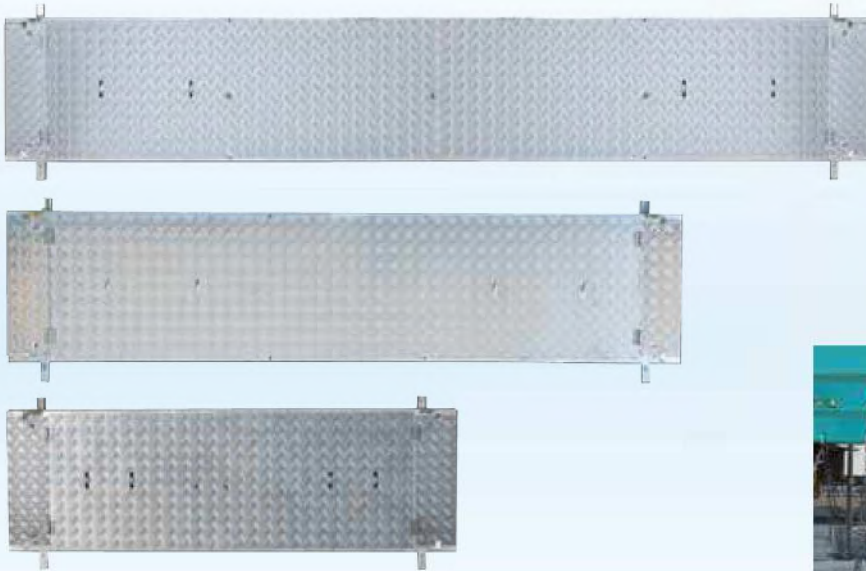
開閉床材受 A



開閉床材受 B



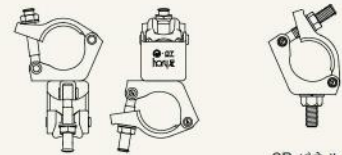
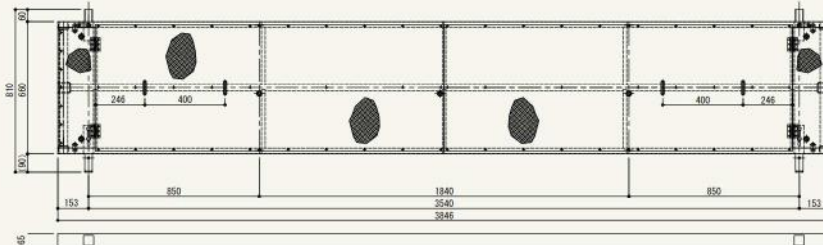
積み重ね状態



■仕様図

■3.85m パネル

重量：41.8kg

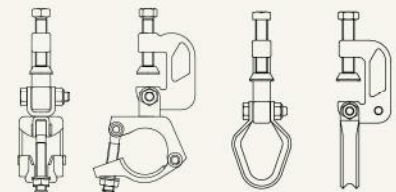
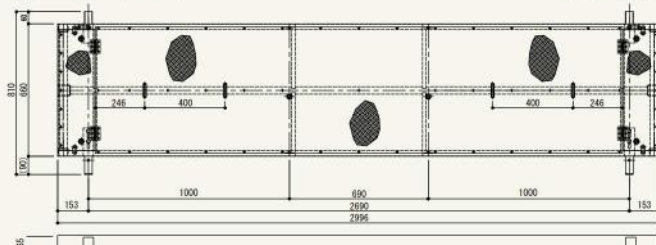


兼用クランプ(自在・直交)

SP パネル用
単クランプボルト付

■3.0m パネル

重量：34.2kg

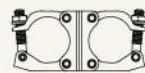
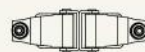
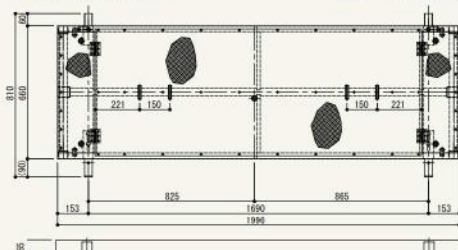


鉄骨用クランプ

吊りチェーン用クランプ

■2.0m パネル

重量：26.0kg



SP パネル用
平行カブラ



単管



吊りチェーン

「進化系システム吊り棚足場」 SPIDER

施工手順

スターターパネルの取付

地上もしくは、安定した場所での事前作業



開閉床材を開きSPパネル用平行クランプを取り付ける。



開閉床材を閉じ、両端部のパネル内蔵高ナットにSPパネル用単クランプボルト付を取り付け単管、自在クランプに設置する。

橋脚もしくは足場上(昇降設備)の作業



橋脚もしくは足場に上に上がり、橋梁に吊りチェーン用クランプ、鉄骨用クランプを取り付ける。



チェーンを吊りチェーン用クランプとパネルに設置した単管に取り付ける。



単管に設置した自在クランプにフレ止め単管を取り付けパネル設置高さまでゆっくり降ろす。



フレ止め単管を橋梁に取付ける。

パネル設置の手順



橋梁に吊りチェーン用クランプを取り付けチェーンを吊りチェーン用クランプ、パネルの吊り材に設置し、設置するパネルを既設パネルの受け金具の上に仮置きする。



受け金具拡大



チェーンを持ち設置するパネルが水平になるまでゆっくり倒す。

←預け金具(センターパネル側)

←受け金具(既設パネル側)



設置するパネルを手前に引きパネルを接触させ、その後、連結ボルトBで固定します。



連結ボルトBの固定→ボルトを締め付けて固定完了。

■施工の流れ

